

# ロジックモデルの 作り方・使い方

環境省北海道環境パートナーシップオフィス

1



## 皆さんと一緒にやること

- 1 ロジックモデルの作り方の確認
- 2 ロジックモデルの使い方の発見



少人数でお話をしながら、理解を深めていきます。意見や疑問に感じたことがあれば、気軽にご発言ください！

© 2023 EPO Hokkaido

2



## 活動計画を立てるときに…

### ●こんなことに困ったことがありますか？

- ・自分ではよくできた計画だと思うけれど、資金調達やボランティア等の人材獲得になかなか結び付かない…

目指していることが、抽象的に感じるなあ

目指していることには共感するけれど、その方法で達成を目指すの？ 他の方法は？

いい方法だけど、本当にできるの？



外部の人はこんなふうに見えたりも？

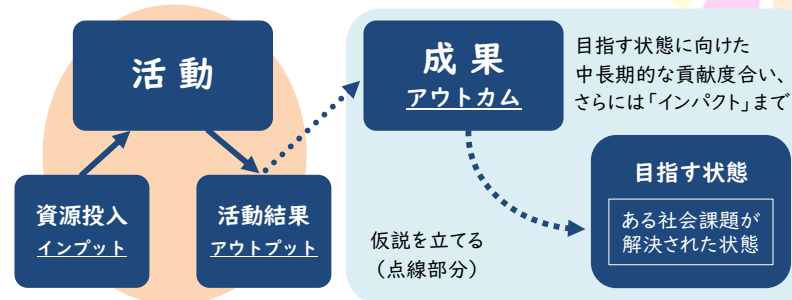
© 2023 EPO Hokkaido

3



## 目指すことにつながっている？

### ●「活動」と社会や地域の「課題解決」



例えば…

- ・ 50万円で環境教育イベントを実施(インプット)
- ・ 2回開催し、30人の参加があった(アウトプット)
- ➡
- ・ 参加者の環境意識が高まった(アウトカム)
- ・ 地域全体の環境行動が増えた(インパクト)

© 2023 EPO Hokkaido

4

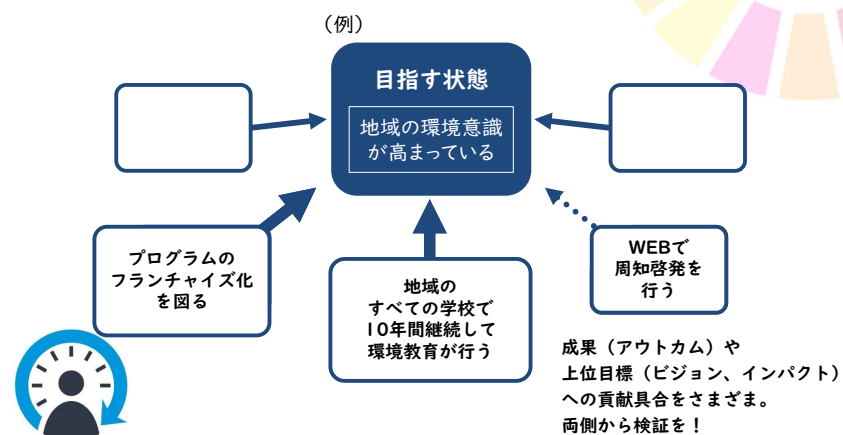
## ロジックモデルとは

- 思考の道筋、組み立て（論理、ロジック）を図式（モデル）にしたもの。
- ここでは特に社会課題について「このように活動を行う（資源投入→活動→結果）」と、「このように影響（成果）が生じて、このように社会課題の解決につながる」という道筋を指している。

簡単そうだけど、さっき外から目線で引っ掛かったところは…？



## 目標達成には多様な手法がある



考えてみよう

## ロジックモデルを作ってみよう

上位目標 (目指す姿 ≡ インパクト)	社会が／●●地域が～	
↓		
活動の成果 (アウトカム)		
↓		
活動計画	投入資源 (インプット)	(地球環境基金への申請額等)
	活動内容	
	活動目標 (アウトプット)	

## ロジックモデルをどう使う？

- 成果（アウトカム）や上位目標の（時間・空間・領域の）射程をどこまで伸ばすか。「取り組みたいこと」と行き来しながら調整を。
- 一人で考えるだけではなく、一緒に取り組むチームで、対話を通じて検証、検討する。
- 対外的に発信し、協働するためのツールとして活用する。
- 事業や段階に応じて、常に見直しを！



考えてみよう